

## 金沢大会へ応援練習

21日に梶卯辰山相撲場で行われる北國新聞創刊130年記念・第107回高校相撲金沢大会（北國新聞社主催）に向け、珠洲市の飯田高で18日、応援練習が行われた。総勢約50人の生徒による演奏や元気

### 飯田高

な声がグラウンドに響き、「地震の被害を受けた地元に白星で勇気を届けたい」と稽古に励む相撲部員を鼓舞した。

【28面に本記】

金沢大会の応援は、同校では吹奏楽部と野球部が担う。

## 相撲部員にエール



高校相撲金沢大会に向け、応援練習に励む生徒  
|| 珠洲市の飯田高

約1時間の練習では校歌と応援歌の練習を繰り返し返した。吹奏楽部の演奏に合わせ、野球部員が「行け行け」「押せ押せ」と威勢のいい声を響かせた。

相撲部は、練習場所である珠洲市緑丘中の屋内土俵に大きな亀裂が入って使用不能になったものの、屋外の土俵を手入れして梅木綾佑主将（3年）ら部員4人は稽古を重ねている。

野球部の森田純矢主将（同）は「相撲部の選手の心に響く熱い応援をする」と話し、吹奏楽部の河原璃子部長（同）は「悔いのない取組をしてほしい」とエールを送った。